



# 栗原小だより

〒123-0843 足立区立西新井栄町 2-10-18

<https://www.adachi.ed.jp/adkuha/>

令和 6 年度

11 月号

足立区立栗原小学校

校長 田中 泰徳

TEL 3887-6391

## 道徳授業地区公開講座 ～大人と子供の討論会～

校長 田中 泰徳

10月の学校公開には、多数のご参観をいただきありがとうございました。最終日10月14日(土)に道徳授業地区公開講座を行いました。1～3年生は各教室で道徳授業の公開、4～6年生は昨年度に引き続き「大人と子供の討論会」を実施しました。今回は「友達関係」をテーマにして、大人に聞きたいことを子供たちにあらかじめアンケートをとりました。その中から代表質問を3つ選び、他の子供たちの意見を聞いたり、会場の保護者の皆さんに赤・青札での意思表示やアドバイスをさせていただいたり、代表パネラーに解決などを答えていただいたりし、意見の交流をしました。人間関係は子供だけの悩みではなく、大人も同じような経験をしていることがよく分かりました。様々な意見の中から、それぞれの生活に役立つヒントを見つけてくれたらうれしい限りです。以下、当日の主な意見をまとめたものです。

### 【代表質問と主な意見】

- ①「苦手な友達とうまく関わるにはどうすればいいですか？」
  - ・必要なことだけは聞いて、あとはあまりかかわらないようにする。(児童)
  - ・一緒にやるべきことはやって、ストレスがたまったら甘いもの食べて発散する(教員)
  - ・共通の話題を見つける。相手のいいところを見つけてみる。(保護者)
  - ・苦手とできるだけ思わない。好きな部分を探していく。(PTA会長)
- ②「なぜ周りに合わせなくてはいけないのですか？」
  - ・空気を読んで行動できる人が優秀だと思う。(児童)
  - ・人の意見に流されたら自分の個性を生かせない。(児童)
  - ・嫌われたくないという気持ちも大事にしながら、言わなきゃいけないときは言う。(教員)
  - ・ケースバイケース。意見を言うことで、全体がよい方向に変わることもある。(保護者)
  - ・内容によって善悪を考え判断できるとよい。言い方や相手の気持ちを考えながら伝える。(校長)
  - ・自分の意見を言って後で悪口や陰口を言われた経験がある(約40%の保護者)
- ③「友達とケンカしたときに自分が悪くないときにも謝ってしまうのですが、どうすればいいですか？」
  - ・相手に謝ってほしいから、自分が謝れば謝りやすくなると思う。(児童)
  - ・友達をやめてほしくないから、つい謝ってしまう。(児童)
  - ・変な関係が続くよりも謝って仲直りした方がいい。(児童)
  - ・謝って終わってしまうのではなく、相手の意見も聞いてみてから次のステップに進む。(保護者)
  - ・相手の意見をよく聞いて、考えが合わない部分はこれからも話し合っていく。(教員)
  - ・気分を害してしまったことを謝るのはOK。そのあと、意見交換することが大事。(開かれ委員)
  - ・自分がとりあえず謝っておけばいいだろう・・・という経験をした人(約95%の保護者)

### 家でできる体力アップの運動

6月に実施した体力テストの結果を先月配布しました。結果を振り返った児童の感想を見ると「上体起こしの数値が上がったからこれからは頑張りたい。」など、体力アップを目指す言葉が多かったです。1月に後期体力テストを計画しています。1月は、6月の結果から課題が見られた「立ち幅跳び」「握力」「長座体前屈」を計測する予定です。

【ALPHA (アルファ)】というサイトに体力向上の運動が紹介されています。児童のクロームブックから見る事ができるので、後期体力テストに向けてご家庭でも取り組んでみてください。

体力向上部 鷹野